

人事異動について

長岡市

平成21年3月18日

平成21年4月1日付けで人事異動を別紙のとおり行う。

◎採用、退職などを除く実質的な異動は、823人で昨年と同程度

中越地域の発展を牽引する活力と魅力にあふれた拠点都市を目指して、合併地域とさらなる一体感を醸成し、「市民力」、「地域力」そして「職員力」を生かしたまちづくりを推進するため、次の事項に留意した人事異動を実施する。

- (1) 40万人都市構想の実現に向けて、地域振興戦略部に参事（部長級）及び特命主幹（課長級）を配置する。

◎参事については県から派遣を受ける予定

参事(40万人都市構想担当) 西 正弘(50)(長岡地域振興局災害復旧部副部長)

特命主幹(40万人都市構想担当) 近藤 信行(45)(都市計画課長補佐) 昇任

- (2) 中越地域の産業振興をリードする拠点都市にふさわしい企業誘致活動をより一層戦略的に推進するため、商工部に企業誘致担当参事（部長級）を配置する。

◎商工部に参事を置くことにより、商工部長は、現在の深刻な不況対策に専念できる効果が期待できる。

商工部参事(企業誘致担当) 品田 満(53)(企業誘致課長) 昇任

- (3) 「天地人」関連の観光事業を始め、コンベンション誘致活動に官民が一体となり組織的かつ政策的に対応するため、長岡観光コンベンション協会に職員2人を派遣する。

観光課付特命主幹 阿部 隆夫(53)(秘書課長)

ほか主任級職員 1人

(4) 本庁・支所間の垣根をなくし、新市の一体感の醸成をさらに図るため、職員の人事交流を積極的に進める。

・支所長に当該支所の幹部職員のほか本庁の幹部職員も登用する。

◎和島支所長は支所の幹部職員から昇任させ、三島支所長と与板支所長については、本庁幹部職員から昇任させ配置する。

【当該支所での昇任】

和島支所長 古室 栄(和島支所主幹・地域振興課長)(59)(旧和島)

【本庁からの昇任】

三島支所長 佐藤 行雄(商業振興課長)(55)(旧長岡)

与板支所長 長谷川 久(政策広報部副参事)(55)(旧長岡)

・本庁勤務を経験した支所出身職員が支所へ、支所勤務を経験した本庁出身職員が本庁へ異動することと併せ、支所間の異動を進めることにより一層の一体感の醸成を図る。

◎本庁・支所間及び支所間での人事交流の総数は、113人であり、昨年比で12人増えており、積極的に人事交流を行う。

(5) 団塊の世代の大量退職に伴い、組織の活性化を図るため、年齢や経験年数、採用年次などの年功的な要素にとらわれることなく、能力・実績を踏まえ、幹部職員に有為な若手世代を登用する。

◎部長級に4人、部次長級に1人、課長級に17人、課長補佐級に29人、合計51人をそれぞれ昇任

昇任者の最少年齢は、部長級が53歳、課長級が45歳、課長補佐級が42歳

(6) 能力・実績主義を踏まえ、女性職員の登用をさらに進める。

◎課長補佐級に1人、係長級に10人の女性職員を昇任